

ともに・・・

R7. 6. 25

自ら考え挑戦し ともに高め合う 北杵築っ子の育成

歓声と 笑顔と 水しぶきと

～プール開きを行いました～

がんばったプール清掃の翌週から水泳の学習を始める予定でした。しかし、梅雨とともに気温・水温も上がらず、1週間遅れの6月16日（月）に、待ち望んだプール開きの日を迎えるました。

3時間目に1～3年生合同のプール開きです。プールに入るのは初めての1年生です。

今年度初めてということもあり、水着に着替えた子どもたちは、プールサイドに1列に座り、まずは先生のお話を聞きました。この日は、「プールサイドは走りません」「プールには飛び込みません」等の安全面に関するルールについて、みんなで確認しました。1年生も先生のお話を真剣に聞いています。

さあ、シャワーです。「キャー！」という歓声があがります。一通り体をシャワーにくぐらせた後、いよいよプールに入ります。

2・3年生が入り方等のお手本を見せた後、今度は1年生の番です。先生の「後ろ向きになってゆっくりプールに入れます」という指示を聞き、後ろ向きでそーっとプールに入ります。

中に入ると、先生が「肩までつかってみて」と、声をかけます。ゆっくりしゃがみながら肩までつかってみる1年生です。続いて、「頭まで水につかってみよう」との先生の声。抵抗なく頭を水に沈める子、ためらいながらゆっくりつけようとする子、それそれに初めてのプールに向きます。そのうち、どの子も水の感触を気持ちよさそうに味わっているようです。

水に少し慣れてきたところで、プールサイドの端を持ってバタ足の練習。水上に大きなしぶきがとんでいます。プールから明るく元気な声が、勢いある水しぶきとともに、跳ね返っているようでした。

※4～6年生は、2時間目にプール開きを行いました。

心をつなぐ“あいさつ”と“グータッチ”

子どもたちで組織する児童会が主体的に話し合い、決定した“あいさつ運動”が始まっています。各学年持ち回りで8時5分から各教室を回り始めます。そして、他学年のみんなと、「おはよう！」のあいさつとグータッチを交わ

すのです。

この運動は、各教室だけでなく、職員室や校長室にも子どもたちが顔を見せに来てくれて、先生全員とあいさつ並びにグータッチを交わします。

子どもたちとあいさつを交わしながら、「お互いが向き合い、目と目をしっかりと合わせたあいさつは、とても気持ちがよいものだなあ」と改めて感じました。同時に、この取り組みのきっかけとなった運営委員会の語る“全校一人一人がみんなと向き合った挨拶ができると、さらに仲良くできると思ったから”というように、お互いの心と心がつながっていくうれしさや心地よさで胸が温かになります。

このあいさつ運動で特筆すべきは、「おはよう」のあいさつだけで終わらず、お互いの拳と拳を合わせる“グータッチ”も併せて行っているということです。相手と正対し気持ちを揃えなければ、拳と拳をぴったり合わせることはできず、合わせることで、双方の心が打ち解け合い、より心の通じ合いが図られるようです。

あいさつは、相手を認めることにつながります。大切な朝の時間のスタートが、心地よいあいさつと心のふれあいから始まっています。

自分たちでよりよくしよう

5月23日の代表委員会で、「トイレのスリッパが崩っていないことがあるので、揃えてください」とのお願いをした4年生。

その後、“お願いした立場の4年生として何かできることはないか”と、クラスで話し合ったそうです。その中で、ポスターを自分たちで作成して掲示することになり、早速ポスター作りに取り組んだ子どもたち。2階・3階のトイレに作成したポスターを掲示しました。掲示後、以前よりもスリッパが崩えられている様子があるようで、4年生はうれしさとともにやりがいを感じているようです。

“自分たちの学校は自分たちでよりよくしていく”という気持ちにあふれた4年生。自ら考えて、考えたことをお願いだけで終わらせず、行動に移し実践していく4年生。頼もしい子どもたちです。

北杵築社会福祉協議会より、子どもたちの暑さ対策にと、“クールタオル”をいただきました。これからますます暑くなってまいりますので、ぜひ使わせていただきます。ありがとうございました。

本通信は、本校ホームページでもご覧いただけます

